

## 平成 24 年度第 7 回企業向け人権啓発講座（第 19 回障害のある市民の雇用フォーラム）

日 時：平成 24 年 11 月 13 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 5 時

場 所：京都市総合教育センター 4 階 ホール

### 全体会

発表（1）京都市の総合支援学校の進路の取組について

京都市立白河総合支援学校 3 年 宮嶋 累

京都市立東総合支援学校進路指導主事 福田 好孝

発表（2）就労している卒業生からの発表

京都市立鳴滝総合支援学校卒業生（洛和会ヘルスケアシステム・洛和ヴィライリオス）

高橋利也

京都市立鳴滝総合支援学校卒業生（洛和会ヘルスケアシステム・洛和会デイセンター右京山ノ内）

大川口麻美

### — 発表（1） —

#### ○宮嶋

御紹介いただきました，京都市立白河総合支援学校 3 年宮嶋累です。

#### ○福田

京都市立東総合支援学校進路指導主事の福田です。京都市内の特別支援学校における就労のための進路指導について説明をさせていただきます。

京都市内には高等部を持つ特別支援学校が 7 校あります。そのうちの 6 校に普通科を設置しています。北・東・西・呉竹の 4 校は，京都市内を四つに分けた地域制の総合支援学校です。鳴滝の普通科は主として筋ジストロフィーなどの筋疾患の生徒が，隣接する宇多野病院に入院しながら通学する病弱教育の支援学校です。京都教育大学付属特別支援学校を合わせたこれら地域制総合支援学校の普通科でも，数は少ないですが企業就労を目指す生徒たちがいます。

平成 24 年度に卒業予定の高等部 3 年生は 189 名ですが，そのうち企業就労を目指す生徒が 72 名おります。昨年度は厳しい情勢の中でありながら，企業様の御理解により，過去最多数 68 名の卒業生が就労させていただきました。

始めに就職を目指している職業学科について，宮嶋さんから説明をさせていただきます。

## ○宮嶋

職業学科は鳴滝と白河に設置されていて、卒業後の企業就労に向けた取組を進めています。鳴滝では専門教科としてメンテナンス・クリーニング・福祉・介護を設置しています。白河では食品加工・農園芸・情報印刷・地域コミュニケーションの四つの専門教科を設置し、専門教科によっては専門の知識と技術を持った方を特別非常勤講師としてお招きしています。

それぞれ専門的なスキルを身に着けながら、同時に働く意欲や態度を育て、様々な職種での実習を通して、働くということを体験的に学んでいきます。

また、生徒の希望と適性に合わせて、クリーニング師やホームヘルパー2級の資格、ワープロやパソコンの資格検定にも挑戦しています。

## ○福田

職場体験実習ですが、様々な職種の事業所に実習をお願いしています。主な職種としては、スーパーのバックヤード業務、オフィスやビル、病院・福祉施設などのメンテナンス、ホテルや旅館の客室清掃、食堂などの厨房での食器洗浄、福祉施設でのランドリー業務などがあります。

事務系の仕事でも、請求書と納品書の数字や日付を確認する伝票整理や社内でのメール便の配達、不要な書類のシュレッダー、備品類の整理や補充など、知的障害のある方ができそうな仕事はたくさん埋もれているように感じます。今後はそういった職種での実習をお願いできたらと考えています。

また、実習の希望時間や期間は学校によって少しずつ違いますけれども、基本的には事業所の御都合に合わせて相談させていただきます。

それでは実際に生徒たちが体験している実習の様子を、宮嶋さんに紹介してもらいます。

## ○宮嶋

この方はクリーニング師の国家資格を持っていて、実習先のクリーニング店で実際のお客様の商品にアイロン掛けをしています。スピードはまだまだですが、仕上げは丁寧です。

これは福祉施設の洗濯場での仕事です。利用者の衣類を洗濯して仕分けをし、それぞれの部屋まで届けます。名前の間違いがないよう、慎重に確認しながら作業をしています。

これはスーパーのバックヤードでの仕事です。果物は繊細な扱いが求められます。傷みがないかチェックしながらパックに入れていきます。

厨房での盛り付け作業です。均等に盛り付けるのはなかなか難しいのですが、仕上がりの時間を気にしながら丁寧さと速さが求められる仕事です。

食品を扱う会社での袋詰めや計量の仕事です。乾物が割れたりしないように、丁寧に繊細な作業が

求められています。

総合病院での清掃の仕事です。モップなどを使用し、入院患者に気を配りながら清掃を行っています。

パン製造工場での製造補助の仕事です。原料を計量したり、生地を成形したりしています。

## ○福田

次に職場体験実習までの流れを簡単に説明させていただきます。

まず実習の受入れをしていただける事業所に、実習の担当者が伺います。そこで仕事の内容を見せていただき、生徒にできる仕事があるか、どういう手順で仕事を組立て直せば生徒が自分でできるようになるか、通勤にはどんな交通手段が使えるかなど、実習が可能かどうかの見極めをさせていただきます。

次に生徒の人選を行います。生徒たちは障害の程度や得意なこと、苦手なことが一人一人違います。手順の分かりやすい仕事であれば飽きることなくコツコツと取り組める、コミュニケーションが苦手なので人に話し掛けられると必要以上に緊張してしまう、特定の音や臭いがどうしても我慢できないなど、学校の中だけでは分かりづらいことでつまづいてしまうこともあります。

実習の期間中、生徒たちは自宅から直接事業所に通いますので、通勤手段や時間も考慮するなど、ジョブマッチングは実習がうまくいくための大切な要素になります。

実習先と生徒が決まれば、事前に具体的な内容を打ち合わせます。何時から何時までの作業か、休憩時間や場所、通勤してきたときにどの入口から入って、どなたに声を掛ければ良いか、また、直接担当していただく職場の方にも実習生の特性などをできるだけ事前にお知らせします。

生徒には、仕事内容や必要な準備物、通勤方法などについて説明し、この実習で何を頑張るかという具体的な目標を確認します。実習が生徒にとって成功体験になるよう、失敗を防ぐ準備を整えます。実習開始の1週間ぐらい前には本人が教員と一緒に事業所を訪問します。職場を知り、実際にどんな仕事をするのか、家を何時に出れば始業時刻に間に合うのかなどを確認します。また職場では、実際に一緒に仕事をする現場の方にも事前に紹介していただき、お互いの不安を解消することで、スムーズに初日を迎えることができます。

保護者にも面接時や実習初日に職場に出向いてもらい、どんな所でどんな方と一緒に働くのかを知っていただき、実習の期間は家庭でも支援をお願いします。

実習が始まると、初日は学校から実習担当の教員が同行します。生徒と一緒に作業をすることもありますが、仕事そのものを教えるのではなく、コミュニケーションの取り方を伝えたり、分かりやすくするため手順書作りに協力したり、スムーズに仕事ができるよう支援をします。慣れてきたら、徐々

にフェードアウトし、生徒が自分の力でやり切れたと思えるような黒子の役に徹します。

実習中は必要に応じて、実習担当の教員や担任が観察に伺います。また保護者が見学に行くこともありますが、食品関係の事業所や病院など、部外者の立入りが難しい職場もありますので、担当の方と十分に連絡を取るようになっています。職場で困っておられることや、本人が困っていることがあれば、その都度解決を図るようになっています。

実習の最終日には本人・保護者・学校が同席して、まとめの会を持たせていただきます。実習期間における意欲・スキルなどについて職場から評価をいただきます。ここでは同じ職場で同僚として働くとしたらという観点で、職業人としての評価をお願いしています。そこで出てきた課題は学校へ持ち帰り、今後の授業で取り組んで解決を図ったり、次回の実習の目標としていったりします。

その職場で雇用を考えておられる場合は、実習を通して就労の可能性はあるか、生徒にこの職場で働きたいという意欲があるかどうかを確かめます。可能性がある場合は目標をステップアップしながら、再度の実習をお願いすることになります。

#### ○宮嶋

私たちも就労に向けた実習に取り組み、頑張っているところです。後ほどの分科会でその様子をお伝えしたいと思っていますので、是非、御参加ください。

私たちは同じ仕事でも職場の規模や人的な環境、使う道具一つで全く別な仕事と覚えることがあります。一人一人がそれぞれの良さを発揮して働くためにはより多くの職場が必要です。色々な職場や仕事を体験する中で、一番力を発揮できる雇用先を見つけることが、私たちはもちろん事業所にとっても大きなメリットになると考えています。私たちは実習や雇用を考えていただける機会を求めています。

#### ○福田

職業学科ではデュアルシステムとして、企業と学校とのパートナーシップの下で職業人として人材育成を行う進路指導を推進していきます。デュアルシステムは、在学中からの長期の実習を通して、企業が必要とする実践的な知識や技術を身に付け、卒業後スムーズに職場に移行できるようにするための支援システムです。今年度はこの雇用フォーラムを、京都市立総合支援学校デュアルシステム推進ネットワークと共催して、より多くの企業に障害者雇用を進めていただきたいと思います。

#### ○宮嶋

私たちは同じことを黙々と繰り返す根気強さがあり、定型反復の仕事は得意です。また言葉での指

示より、手順書や図に描いて目で見て分かる方法で指示をしていただくと分かりやすい方も多くいます。一人一人の特性に合わせた支援をいただきながら、真面目に一生懸命に取り組むところは職場の方からも褒めていただきます。

それ以外にも色々な職域が広がっています。レジの仕事やサービス業、事務の仕事や福祉施設での後方支援業務など、私たちが働く姿を見ていただく中で可能性が広がりつつあります。

## ○福田

まずは各支援学校に電話をください。学校ごとに企業向けの学校見学会もやっています。可能な方法を学校と一緒に探していただけたら、生徒にとっても、企業にとっても、共にプラスになる方法が見付かると思います。

どうぞよろしく申し上げます。

## — 発表(2) —

## ○司会

それでは続きまして、総合支援学校の卒業生が就労体験を発表させていただきます。鳴滝総合支援学校の卒業生で、洛和会ヘルスケアシステムに勤務している高橋さん、大川口さん、よろしく願いいたします。

## ○高橋

高橋利也です。よろしく申し上げます。

平成 24 年 4 月 1 日、私は社会人として第一歩を踏み出しました。職場は中京区にある洛和会ヘルスケアシステム洛和ヴィライリオスという介護施設で、主に清掃や介護補助を担当しています。今から、働くことを通して学んだことや感じたことをお話します。

今仕事をする上で一番大切にしているのは、利用者の方々の笑顔と「ありがとう」の言葉です。「毎日きれいに掃除をしてくれて、ありがとう」と笑顔で言っただけのことが、とてもうれしいです。

しかし、利用者に心から満足して笑顔になってもらうことは、難しいことだとも感じています。前に喜んでもらったことを同じようにしても、喜んでもらえないことがありました。私はどうしてかと色々と考えてみました。今はまだ利用者の気持ちを十分に理解しているとは言えず、それは時間の掛かることだと思っています。

そこで、すぐにでもできることをやってみることにしました。元気な挨拶をして、特に清潔感のある身だしなみを心掛けることです。そうすれば利用者が明るい気持ちになって、笑顔を見せてもらえると考えました。毎日、一生懸命仕事に励み、自分から元気に明るく挨拶をし、身だしなみに気を付けています。

学生のおときには、このように自分で考え行動しようと思ったことはなく、働くことを通じて考えるようになりました。仕事に対する責任感と使命感を日々感じているからこそ、私は変わったんだと思います。

そして、利用者と一緒に働く職員の方々が私を支え、見守ってくださっているおかげだと思っています。ですから、皆さんに感謝をし、今度は私が皆さんに恩返しをしていこうと思っています。それには、更に利用者に満足していただける職員になれるよう変わっていきたいと思います。そして、今の仕事をこつこつと一生懸命に頑張り、新しい仕事を任せていただけるようになりたいです。初心をいつまでも忘れずに、いつかは介護福祉士の資格を取ることを目指していきたいと思います。

発表を聞いてくださり、ありがとうございました。

## ○大川口

御紹介いただきました大川口麻美です。

平成 24 年 3 月に、鳴滝総合支援学校の生活産業科を卒業しました。現在は、洛和会ヘルスケアシステム洛和デイセンター右京山ノ内で職員として働いています。

今から私が支援学校で学んできたこと、働いている様子などを発表させていただきます。

私は、学校の専門教科ではメンテナンスを勉強し、アビリンピックでメンテナンス部門に出場しました。アビリンピック当日の緊張感の中で自分の実力を出せたことで、自分に自信を持つことができました。

さて、介護関係の仕事に就きたいと思ったのは、足の不自由な祖母の介護がきっかけです。3年生のときに、学校でヘルパー 2 級の資格を取るための講座を受講しました。資格を取るための 3 箇月間は大変でしたが、資格が取れたときはとてもうれしかったです。

その後、洛和デイセンター右京山ノ内で 3 回実習させていただきました。

初めての实習では何をしていいのかわからなかったのですが、職員の方が分かりやすく教えてくださいました。主な仕事として、お茶出しと、利用者の方々と一緒に塗り絵や折り紙をしました。利用者が到着されたときのお迎えをする介助の仕事もしました。

2 回目の実習は 1 箇月間でした。仕事内容に大体見通しが持てるようになってきましたが、利用者とのコミュニケーションについて、最初は悩みました。しかし、毎日利用者様と接することで、対応

の仕方が少しずつ分かってきました。

私は初めての実習のときから、洛和デイセンター右京山ノ内で働きたいと思っていました。職場の雰囲気が良いこと、仕事内容を始めに分かりやすく教えてもらえること、そして実習を重ねていくことで自信を持って活動できることが大きな理由です。

働き始めて、仕事に対する責任感ややりがいを強く感じています。今後挑戦してみたい介護の仕事もいっぱいあり、これからもこの職場で自信を持って仕事をしていけるように頑張ります。

これで私の発表を終わります。ありがとうございました。

(全体会 終了)